

会議結果報告書

1 会議の名称

令和7年度第1回柳井市立図書館協議会会議

2 開催日時

令和7年5月11日（日）13時30分～15時00分

3 開催場所

みどりが丘図書館スタジオ2

4 出席者

8名（欠席 2名）

5 公開・非公開の別

公開（傍聴人 0人）

6 会議の議事録（要旨）

（1）開会

（2）柳井図書館人事異動紹介及び図書館長あいさつ

（3）協議事項

（1）ストーンマーケット翠が丘公園の運用について

（事務局）

ストーンマーケット翠が丘公園の運用について説明

- ・芝生養生中のため、全面的な供用開始は6月下旬を見込むも時期未定
- ・東側テラスから階段ベンチまでの区切られた範囲は図書館館内として扱う
- ・公園部分にキッチンカーへの貸出しスペースあり

（会長）

図書館内とする範囲へ外から自由に入れてしまうのではないかと危惧したが、実際に見ると鎖等で区切られており、屋内と一続きの空間であると感じられた。屋内を歩いて行くスペースなので、本を目にする機会にもなる。

（事務局）

館内と館外の区別が付くように対策していく。

(委員)

小さな子どもの安全に注意。開館当初は音を立てて走る様子が見受けられたが、利用の仕方に慣れて子どもが走ることは少なくなっている。現在子育てしている家庭にとって、雨の日に出かけられる場所として活用されている。中高生がどのように使うようになるか等、利用され始めて時間がたってみないと分からない。

(会長)

運用開始後、臨機応変に対応するように。

(2) 令和7年度みどりが丘図書館年間事業計画について

(事務局)

年間事業計画について説明

- ・開館1周年を記念して直木賞作家今村翔吾氏の講演会を9月にアクティブやないで開催予定
- ・定期開催のおはなし会及び映画上映会を引き続き開催する。
- ・一般向け、子ども向けの講座、イベント等を開催する。屋外スペースを活用したイベントも企画する。
- ・図書館サポーターと各種業務に関する協議を行い、サポーターの意見を取り入れた上で活動していただく。

(委員)

中原中也についての講演会が開催されるが、柳井ゆかりの国木田独歩は取り上げないのか。

(事務局)

旧図書館の頃に国木田独歩や浦家に関する講座を開催した。みどりが丘図書館でも郷土の人物を取り上げることを検討する。

(委員)

市民活動センターとの共催イベントは行うのか。

(事務局)

昨年度みどりが丘フェスタを行なった。今年度の形態については検討している。

(会長)

今村翔吾氏の講演会は9月だが、7月には何を行うのか。

(事務局)

検討中。大がかりなものは難しいと思う。

(会長)

司書や図書館で活動する団体などから知恵と手を借りて、大々的でなくともいつもより豪華にして1周年を記念することができればよいのでは。

(事務局)

時間が迫ってもいるが、皆様の意見を聞きながら検討していく。

(4) その他の事項

(事務局)

前回の協議会でいただいたご意見を受けて改善した事項を報告

- ・玄関風除室に当日のスタジオ使用予定を掲示
- ・子ども図書エリアのインデックス等表示を大きな振り仮名付きや平仮名表記に

(委員)

カフェエリアの利用方法について、学習やパソコン仕事の長時間利用や持ち込みの可否など分からない部分がある。

(事務局)

持ち込みの飲食は不可。職員から注意する。テスト期間などに長時間占拠するのは注意している。

(委員)

学生の学習はだめで大人のパソコンはいいのか等、あいまいでは不公平になる。ルールの可視化が必要。

(委員)

スタジオ利用について、2時間等に区切られた区分に従って予約すると、押さえているけれども実際には使用しない時間が出てくるが、この区分は変更しないのか。

(事務局)

条例で定まった区分であり、変更はできない。

(委員)

学習用に開放されたスタジオでも、席の配置によって利用しにくいのか、使われていないことがある。配置に工夫を。

(委員)

2階に大人の目が届かない。2階カウンターに大人が座っていれば抑止になるのではないか。

(事務局)

2階カウンターに常駐は難しい。

(委員)

学習支援サポーターの協力を仰いではどうか。テスト期間だけでも。

(事務局)

学習支援サポーターと協議したい。昨年度夏休みに2階に学習支援を受け付ける席を設けたサポーターもいらした。

(委員)

スタジオの予約窓口と市民活動の相談窓口が一緒なので、市民活動センターの相談員が相談を受けている間はカウンターでスタジオ予約ができない。スタジオ1に相談員を配置して、相談業務はそちらで受けるようにできないか。

(事務局)

カウンターにいるスタッフで対応できないときにはブザーで事務室のスタッフを呼ぶようにしている。スタジオ1は作業用で、相談室としては想定していない。ご意見は市民活動センターの所管課へ伝える。

(委員)

スタジオ1を相談室にすることは求めないが、ロッカーを使用するのにカウンターに声をかけてスタジオの鍵を開閉してもらわなければならないのにストレスを感じる。また、カウンターでは話がしづらい。その点でもスタジオ2に相談員が駐在してほしい。

(事務局)

前回の協議会でも出された提案かと思う。

(委員)

それほど切実な問題だということ。検討されることを求めたい

以上